マルウエア感染などにより不正な通信を行う端末を即時に隔離

情報セキュリティ事故の増加

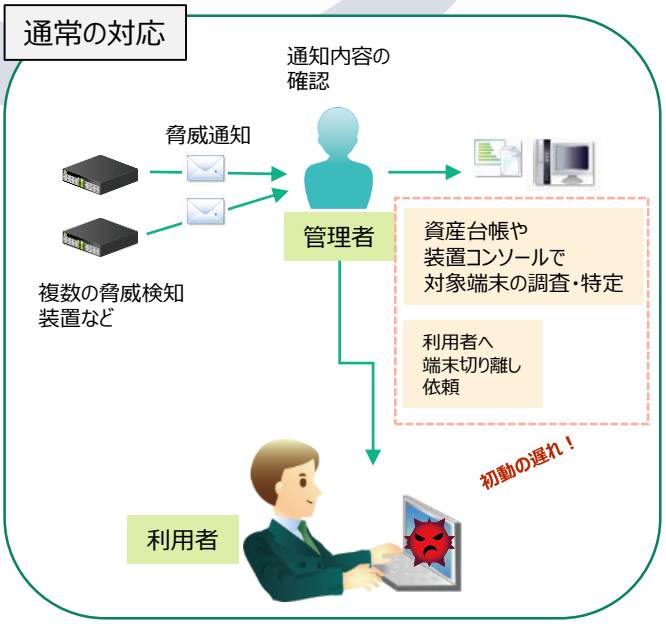
標的型攻撃やランサムウエアによる被害は近年の大きな脅威となっています。侵入の痕跡を隠しながら活動するマルウエアなど、手段が高度化しています。万が一の重大な被害を回避するには、異常な状態を早期に検知するのと同時に、初動対応を早く行えるよう準備することが非常に重要です。

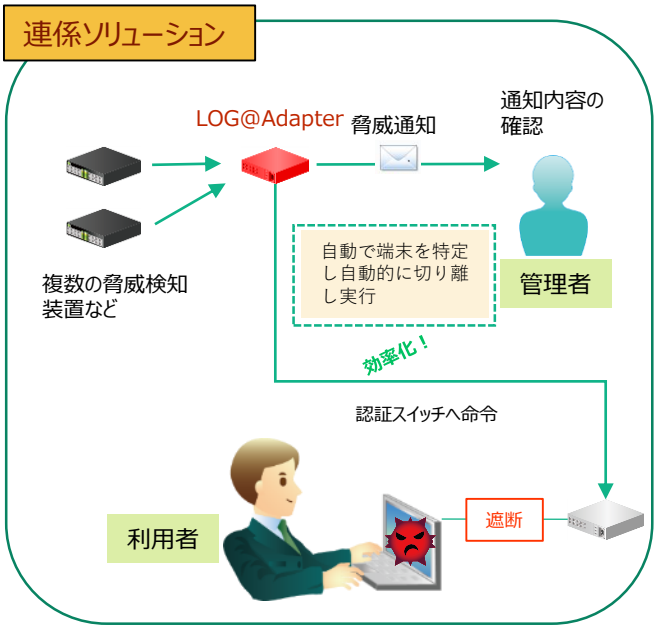
不正通信端末 遮断ソリューション

万が一、攻撃を受けた場合でも、自動的に端末をネットワークから隔離

インシデント対応における初動（脅威検知、端末特定、脅威遮断）を効率化します。

■ ソリューション概要
- 脅威検知装置から脅威を通知
- LOG@Adapterで解析し端末を特定
- 端末を自動的に遮断し、管理者に通知





エイチ・シー・ネットワークス株式会社

多層防御連係シリーズ　外部脅威対策編

次世代ファイアウォール連係

■ ソリューション構成製品

Palo Alto Networks, Inc.

アプリケーション、ユーザー、コンテンツを独自の識別技術で可視化しサイバー攻撃に対抗する、次世代ファイアウォール

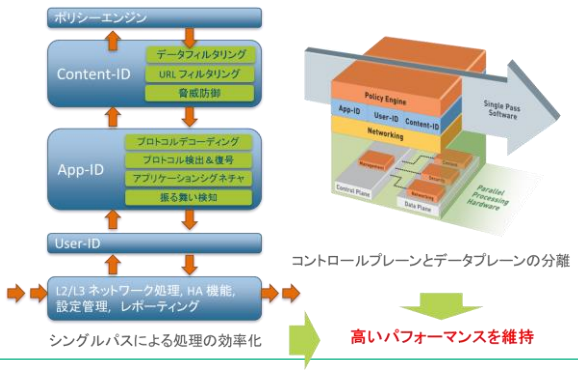
次世代ファイアウォールシリーズは、ポート番号ではなく利用しているアプリケーションの識別、IPアドレスではなくユーザー名でのトラフィック制御、リアルタイムに脅威を制御するコンテンツ識別、ハイパフォーマンスを実現するアーキテクチャ、さらには未知のマルウエア検知や振る舞い検知機能を搭載した市場をリードする次世代ファイアウォールです。

※弊社販売取扱製品

次世代ファイアウォールのアプリケーション識別

- 全トラフィックのアドレス、ポート、プロトコルの情報に加え、アプリケーション情報も自動的に取得し、識別します。
- SSLにも対応しています。（復号化してアプリケーション識別を行います。）
- ビジネス、インターネット、ネットワーキングと2,000種類以上のアプリケーションとプロトコルを幅広くサポートし、DB更新により毎週続々と対応数を拡大しています。
- お客さまの自社開発のアプリケーションにもリクエストベースで対応しています。
- その場でカスタムシグネチャを作成することも可能です。

◆ 次世代ファイアウォールのアーキテクチャ



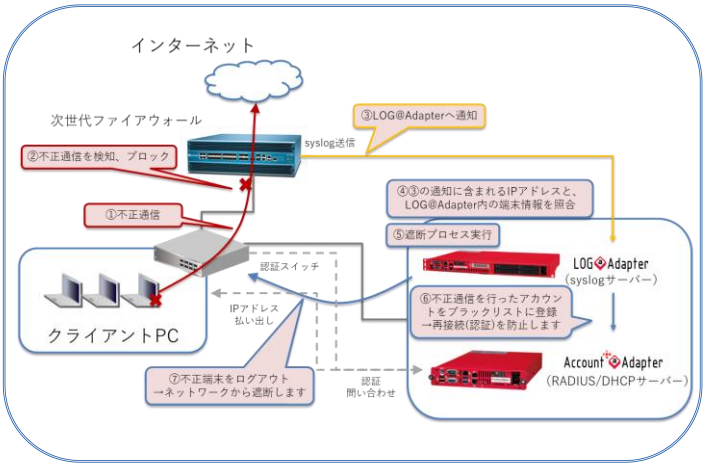
認証ログを可視化するsyslog管理アプライアンス

LOG@Adapter ログ アダプター

- いつ・誰が・どのPCで・どのスイッチ&ポートから、接続しているか把握
- 認証スイッチやIPSなどの不正通信検知装置、Account@Adapter+と連係して、認証スイッチから不正通信端末をログアウト

ログ検索機能　レポート機能　ログアクション機能　APRESIA、ALAXALA、Aruba QuOLA@Adapter 連係機能　端末遮断機能

▼ 動作イメージ



エイチ・シー・ネットワークス株式会社

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル4 F
お問い合わせ： https://www.hcnet.co.jp/inquiry/

Printed in Japan '18-03